



山口県立大学 2011 (平成23) 年度 前期公開授業

医学・医療の進歩は著しく、それに従事する人はもとより受ける人も医療の水準を知ることが大切です。また、「命」は医師のものではなく患者のもので、この授業は、患者自身が医療を選択し決定する、いわゆる「自己決定権の確立」に役立つものとなっています。そこで、人間をトータルとして捉え、多方面から医学・医療を解説するように、本プログラムは組み立てられています。

医学

開講期間

2011年4月11日(月)～7月25日(月)

※第14回は月曜日ではないのでご注意ください。

時間

各回17時50分～19時20分(90分間)

会場

山口県立大学 本館(3階) A32 階段教室

受講料

各回500円(10回以上5,000円)



	月 日	テーマ	内 容	講 師
1	4/11 (月)	日本人に多い癌 ～胃がん	現在、日本人の3人に1人が癌で死亡する時代です。政府は様々な癌対策を進めていますが、「癌にならないため、たとえ癌になっても克服できるよう」、癌の基礎知識をもっておくことが大切です。わが国に多い癌のひとつである胃がんについて概説します。	山口大学大学院医学系研究科 消化器外科学 准教授 榎 忠彦
2	4/18 (月)	寝たきりを招く 運動器不安定症	運動器不安定症は、高齢化を基盤に運動機能低下を来たす症候群で、補講能力やバランス能力の低下が転倒リスクや閉じこもりリスクを亢進させ、健康寿命を大きく短縮させます。運動器不安定症の病態とその対策について述べます。	山口大学大学院医学系研究科 システム制御医学 教授 田口敏彦
3	4/25 (月)	医療における 薬剤師の介入	薬剤の開発・進歩による医学・医療の貢献およびそれがもたらす副作用、薬害について考えます。医療における薬剤師の役割および日本の薬剤師の現状について述べます。	山口大学大学院医学系研究科 臨床薬理学 教授(附属病院薬剤部長) 古川裕之
4	5/9 (月)	生活習慣病 (1) 脳を守る	長年の生活習慣により脳への危険が迫り、やがて脳卒中や認知症となって症状を出します。脳を守る自然のメカニズム、病気による破壊、医療が行う方法について解説します。	山口県立総合医療センター 副院長 脳神経外科学 山下哲男
5	5/16 (月)	医学倫理 ～何故必要か	命を救うためには、第三者には容認できない事象を取扱うことが医療人に許されています。そのため高い倫理が求められます。一般倫理と異なる医学倫理の特殊性を学びます。	山口大学大学院医学系研究科 医療環境学 教授 谷田憲俊
6	5/23 (月)	臓器移植	臓器移植に関する医学的側面と社会的側面を解説します。脳死移植、心停止後移植、生体移植の違いを述べ、日本における臓器移植の現状を解説します。	山口大学大学院医学系研究科 泌尿器科学 准教授 土田昌弘
7	5/30 (月)	婦人疾患 ～HPVと 子宮頸がん	子宮頸がんの発症にHPV(ヒトパピローマウイルス)が関係していることが明らかになり、またHPVに対するワクチンが開発されました。これからの子宮頸がんの治療戦略について考えます。	山口県立総合医療センター 外科系主任部長・産婦人科部長 上田一之

8	6/6 (月)	生活習慣病 (2) 循環器病	生活の欧米化に伴い、様々な循環器疾患、つまり心臓・血管系の病気が増加しています。主な循環器疾患の背景、病態、治療、予防等を概説します。	山口大学大学院医学系研究科 器官病態内科学 講師 大草知子
9	6/13 (月)	生活習慣病 (3) 糖尿病	糖尿病は食生活の欧米化による現代病です。多くの糖尿病は生活習慣をコントロールすることで予防できます。糖尿病よりも糖尿病で生じる合併症が致命となります。	山口県立総合医療センター 代謝主任部長 井上 康
10	6/20 (月)	終末期医療	ガン末期治療を消化器外科疾患の立場から解説します。末期医療の現状と効果および患者の幸せとの連関について考えます。抗癌剤の効果についても説明します。	地方独立行政法人 山口県立病院機構 副理事長 中安 清
11	6/27 (月)	救急医学 ～ここまで知って 欲しい	救急医療では幅広い患者、重症患者に対応する高度の医学知識が要求されます。救急医療の社会的意義、各種疾病や病態の把握、重要臓器の機能維持法や保護法を学びます。	地方独立行政法人 山口県立病院機構 理事長 山口県立総合医療センター 院長 前川剛志
12	7/4 (月)	ストレスと鬱病	本邦での自殺者は年間3万人以上です。この中うつ病、ストレスを有した人がかなり存在します。ストレスとは何か？うつ病とは何か？両者の関係について述べます。	財団医療法人水の木会 理事長 水木 泰
13	7/11 (月)	再生医療	生命は限られています。永遠に生き長らえることは人の夢です。細胞を再生できればこの夢が叶います。再生医療の現状を紹介し、社会にもたらす影響を検討します。	山口大学大学院医学系研究科 器官病態外科学 教授 濱野公一
14	7/19 (火)	乳がん ～早期診断・治療	本邦では生活の欧米化で乳がん患者が急増したが、早期診断・治療により予後は必ずしも悪くありません。近年の診断法、治療法および乳がん発生の危険因子について解説します。	下関厚生病院乳腺・甲状腺外科 長島由紀子
15	7/25 (月)	癒しの医療	医療との係わりが長くなるにつれ、機械的な医療が疎まれ心のこもった医療を求めます。癒しの医療に足りないもの、配慮すべきことについて体験を踏まえて述べます。	山口県議会議員 藤井律子

▼部分受講も可能です。

▼全回受講された方には、山口県立大学公開授業受講修了証が授与されます。

申込方法

はがき・電話・FAXで氏名・年齢・住所・電話番号を下記の申し込み先までお知らせください。

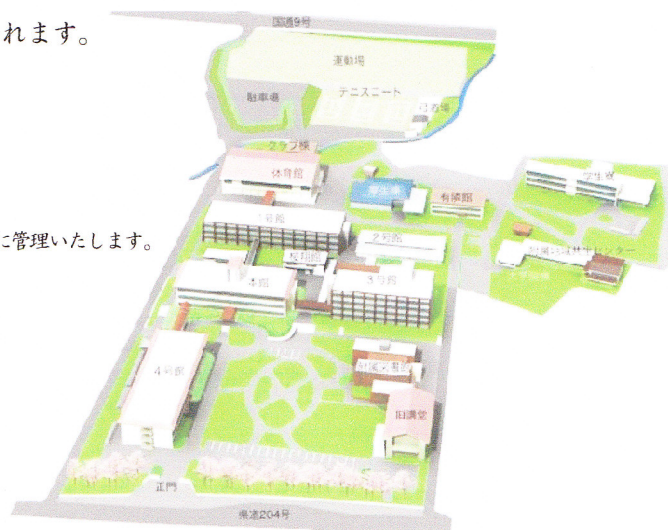
※お申し込みの際に取得した個人情報については、個人情報保護の観点から厳重に管理いたします。

締 切

4月7日(木) ※部分受講については随時受け付けます。

受講通知

授業開始日までに、詳細なご案内を送付いたします。



[問い合わせ・申し込み先] 〒753-8502 山口市桜島 3-2-1

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門 TEL・FAX 083-928-3495